

大学ポートレートを高等学校 の進路指導に活かすために

令和6年12月4日

東京都立墨田川高等学校
統括校長 渡邊 範道



ご挨拶並びに自己紹介

渡邊 範道 わたなべのりみち

東京都立墨田川高等学校 統括校長
全国高等学校長協会

大学入試対策委員会 委員長
全国普通科高等学校長会 副理事長



本校の概要と生徒の状況

創立102年目の伝統校「七高」

各学年(年次)8クラス (計 24 クラス)

全校生徒932名 (男子406名・女子526名)

進学重視型単位制高校 (都で3校)

進学指導推進校 (都で15校+このほかに上位指定校14校)

→ 卒業生の90%近くが大学に進学



東京都の進学指導指定校

進学指導重点校(7校)

日比谷、西、国立、八王子東、
戸山、青山、立川

進学指導特別推進校(7校)

小山台、駒場、新宿、国分寺、町田、
小松川、国際 (青字は進学重視型単位制)

進学指導推進校とは

進学指導推進校（15校）

三田、竹早、城東、豊多摩、北園、

武蔵野北、調布北、小金井北、

日野台、多摩科学技術、昭和、

江北、江戸川、上野 **そして墨田川**

本校の3か年進学実績(現浪合計)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国公立大学	31	21	26
早慶上智理科大	35	20	14
G-MARCH	122	109	56
成成獨國武明学	93	75	75
日東駒専	221	196	149



1 高等学校の進路指導が目指すもの

墨田川高等学校長の思い

- 「予習→授業→復習＋**自発的学習**」の「**学びのサイクル**」の定着による学力の伸長
- 「**総合的な探究の時間**」での進路意識の向上及び学問的探究意識の育成
 - ○ 主体的かつ意欲的に学び、自己の進路を考える生徒の育成
 - 大学入学後、社会的な課題を解決しようとする人材の育成



1 高等学校の進路指導が目指すもの

墨田川高等学校長の思い

(とは言うものの...現実には)

○「進学重視型単位制高校」の特徴を生かし

「進学指導推進校」としての役割を果たす必要

→ 国公立大学及び難関私立大学合格実績の向上

国公立大学 20名、早・慶上智理科大 15名

GMARCH 80名 の数値目標を掲げる

○ 増加傾向にある国公立大の総合型選抜への対応



2 本校の進路指導の実際

【全年次共通】 受験対策

- 模擬試験の受験と活用
- 学習用動画・課題配信サービス利用
- 校内予備校(教育庁都立学校教育部の事業)
- 進路手帳の活用(学習サイクルの定着)

【1年次】

- 勉強合宿(2泊3日)



2 本校の進路指導の実際

【3年次】 情報の提供

- 受験ガイダンス
- 大学入学共通テスト説明会
- **学習・進路指導支援サービス『COMPASS』(ベネッセ)**

【1, 2年次】 情報の提供

- 受験報告会
- 大学説明会(大学入試課担当者による)
- 大学模擬講義(大学教授による)
- **学習・進路指導支援サービス『COMPASS』(ベネッセ)**
- **進路適性検査『学びみらいPASS』(河合塾)**



→ アセスメントテストで「リテラシー」と「コンピテンシー」を測定。結果から文理傾向や職業・学問適性を診断。

3 大学ポータルサイトの活用に向けて

(1) 優れている点(おもな意見から)

① 信頼感

- **信頼できる**広範な情報が豊富に掲載されている。
- 認証評価等の評価結果は**質保証の検討**に適している。

② 構成と機能

- レイアウトが**同じフォーマット**で探しやすい。比べやすい。
- **検索機能**が充実している。
- 大学・学部学科を**比較検討**するのに適している。
- **国公立大学**の情報が充実している。
- 所在地での検索が便利。(特に地方の生徒に?)

3 大学ポートレートの活用に向けて

(2) 改善が求められる点(意見から) (○生徒意見、□教員意見及び私見)

① トップページの工夫

- いきなり大学名の検索で面食らった。
- 自分で何から始めてよいかわからなかった。
- 「ご利用の方へ」の「大学ポートレートの使い方」を目立たせるべき。

② 情報収集の経過とゴール

- たくさん大学が出てきて調べるのが大変だった。
- 何を調べるのか明確でないとはじまらない。
- 国公立大学と私立大学が別々なのが使いづらい。
- 調べ始めてから最後に何が得られるのか見通せなかった。
- 「リンク先から確認願います」など情報の空白が意外と多い。
- 結局最後は大学のホームページなら最初から見る方が早い。
- 検索や情報収集に目的意識や気付きを持たせる指導が必要。

3 大学ポータルサイトの活用に向けて

(2) 改善が求められる点 (○生徒意見、□教員意見及び私見)

③ 生徒の視点(気持ち)に寄り添った用語・項目を

- 掲載情報の言葉に一部難しいものがあった。
- 高校生向けの情報かと思うものがあった。
- 調べたいことを探すのに時間がかかった。
- 大学別のパンフレットの方が分かりやすかった。
- 就職者数や教職員数のデータは示し方に工夫が必要。
- レイアウトが揃っているので比較項目の抽出には便利だが、「**なかみよりかたち**」重視に感じる。

4 高校の進路指導に活かすために

【提案】

提案① 強みを打ち出した積極的なPRを

- 圧倒的な信頼感
 - 広範で豊富な情報と同形式掲載で比較に便利
 - 検索機能の充実
 - 特に国公立大学の情報が充実
 - 地方の生徒には所在地での検索も便利(?)
 - 認証評価等、質保証の検討にも活用
- **全国高等学校進路指導協議会**の全国進学指導
研究大会などでの**指導実践事例**を用いたPR

4 高校の進路指導に活かすために

【提案】(続き)

提案② 特長と役割を明確にした指導ツールの開発

○ 生徒が大学を比較検討する際に強み

(比較するためのツールではない?!)

→ 比較項目を考えさせ、主体的に選択する仕掛け

学びたい学問、取りたい資格と取得のための支援

海外留学支援、学費・奨学金など経済的支援など

「新・大学比較検索ワークシート」の作成指導案の開発

→ 検索項目をどこまで具体化するか事前検討が大切

○ 教員向けには学生支援の比較と質保証の検証に活用

→ 在籍者数、退学者数、留年者数、就職データなど、

認証評価及びその他の評価結果の情報

4 高校の進路指導に活かすために

比較したい項目 第●位	大学名	内容や程度	感想とメモ
この項目を生徒に 考えさせる指導 ↓ 選択のための 価値観をつくらせる 【例】 「児童心理学」が 学べる大学・学部	●●大学 (●●学部)		
	●●大学 (●●学部)		
	●●大学 (●●学部)		

4 高校の進路指導に活かすために

【提案】(続き)

提案③ トップページ等の工夫・改善

- 「ご利用の方へ」のなかの「大学ポートレートの使い方」を「**高校生向け便利な使い方**」としてリニューアル
- 私学版「フリーワード検索」を「**学びのキーワード**」検索へ～いきなり大学名検索ではなく、高等学校の生徒が求めるもの、必要なものから導く
なりたい職業／学びたい学問／興味のある学部・学科
解決したい社会的課題に誘導する仕掛けを
→ 「**学びのキーワード**」から学部・学科の検索につなげる
同時に都道府県検索でも絞り込みなかなか
- 大学ニュースなどの**トピックス**で**興味を惹く工夫**

4 高校の進路指導に活かすために

【提案】(続き)

提案④ 生徒の視点に立った用語・項目(上位項目)への改善

- (例)「学生生活支援」は大学側からの見方
- 高校生(将来の学生)からの見方・比較検索では
→「部・クラブ・サークル活動」=【下位項目が目立つ仕掛けを】
- (例)「経済的支援」→○「奨学金」(「学生生活支援」の大学も)
- (例)「留学生支援(日本人学生への支援)」→○「海外留学支援」
- (例)「様々な取組」の位置付けがまちまち
「外国人教員(職別)」「外国人留学生(学年別)」人数のみも
- (例)「学びの支援」は幅広でわかりやすいが情報がまちまち

→ 高校生のためだけの情報・活用ツールではないという理解が大切か。
(広く社会的役割を担っている)

まず利用者が「大学ポートレートの役割・目的」を理解する必要あり。

大学ポートレートを高等学校の 進路指導に活かすために

大学ポートレートの社会的役割を維持しつつも、
高等学校の生徒に役立ち、
教員が指導しやすいツールとなつて、
全国の高等学校で更なる活用が図られることを
願っております。

御清聴ありがとうございました。

